



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 ニチハ株式会社
コード番号 7943 URL <https://www.nichiha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 成充
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 殿井 一史 TEL 052-220-5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	112,155	4.0	5,585	△27.2	6,223	△26.5	3,767	△33.0
2024年3月期第3四半期	107,824	4.0	7,671	△8.8	8,471	△8.3	5,624	△13.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,363百万円 (△71.2%) 2024年3月期第3四半期 11,669百万円 (△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	108.82	108.59
2024年3月期第3四半期	155.31	155.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	169,499	120,753	71.4	3,554.79
2024年3月期	175,688	126,303	72.0	3,570.27

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 120,950百万円 2024年3月期 126,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	57.00	—	57.00	114.00
2025年3月期	—	57.00	—		
2025年3月期（予想）				57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,500	4.0	7,000	△31.4	7,300	△38.4	4,500	△44.2	129.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	37,324,264株	2024年3月期	37,324,264株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,299,644株	2024年3月期	1,885,331株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	34,622,091株	2024年3月期3Q	36,215,571株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復はしているものの、物価高や為替変動等が企業収益に影響を与える状況が続きました。

当社製品の主要マーケットである国内住宅市場におきましては、2024年4月～同年11月の新設住宅着工戸数が、546千戸と前年同期比1.2%の減少となり、特に当社事業と関係が強い戸建住宅に限れば、前年同期比5.4%の落ち込みとなりました。これに伴い、窯業系外装材の業界全体の当第3四半期連結累計期間（9ヵ月）の国内販売数量は、前年同期比7.8%（JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準）の減少となりました。

もっとも、その戸建住宅について、足許2024年10月～同年11月の着工戸数は前年同期比1.5%の増加と、34ヵ月ぶりのプラスに転じております。

他方、海外主要マーケットである米国市場におきましては、住宅着工戸数は住宅価格の上昇や住宅ローン金利の高止まりを背景に一進一退の状況が続きました。また、米国の非住宅市場についても、金利高を受けて投資を控える動きが一部出ております。

このような市場環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率 (%)
売上高	107,824	112,155	4,330	4.0
営業利益	7,671	5,585	△2,085	△27.2
経常利益	8,471	6,223	△2,248	△26.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,624	3,767	△1,856	△33.0

売上高につきましては、国内外装材事業が、住宅市況低迷の影響を大きく受けたものの、窯業系外装材及び金属系外装材のシェアアップと価格改定効果により若干の増収となりました。また、米国外装材事業は、物流面のトラブルや型板の不良等による販売への悪影響があったものの、コマース事業における営業体制増強などが奏功し、増収となりました。以上により、全体の売上高は1,121億55百万円と前年同期比43億30百万円（4.0%）の増収となりました。

損益につきましては、価格改定効果はありましたが、国内外装材事業における物流費や資材価格の高騰、米国外装材事業における工場の稼働低迷や固定費増、物流面のトラブルなどによる減益影響を補えず、営業利益は55億85百万円と前年同期比20億85百万円（△27.2%）の減益、経常利益は為替の影響が加わり、62億23百万円と同22億48百万円（△26.5%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、中国子会社における事業集約に伴う特別損失が発生したこともあって、37億67百万円と同18億56百万円（△33.0%）の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国外装材事業のいずれも増収となったことから、売上高は1,057億73百万円と前年同期比46億30百万円（4.6%）の増収となりました。

他方、損益面では、前記のとおり、増収に伴う増益効果があった一方、国内外装材事業におけるコストアップや米国外装材事業における工場の稼働低迷などにより、セグメント利益（営業利益）は76億17百万円と前年同期比21億36百万円（△21.9%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が55億49百万円、総資産が61億88百万円それぞれ減少した結果、自己資本比率は71.4%と0.6ポイントの減少となりました。

増減の主なもの、流動資産では主として電子記録債権が43億74百万円、商品及び製品が6億45百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が83億69百万円、仕掛品が5億13百万円それぞれ減少したことなどにより、流動資産全体で46億16百万円減少しております。また、固定資産では有形固定資産が11億77百万円、投資その他の資産が2億54百万円それぞれ減少したことなどにより、全体では15億71百万円減少しております。

負債では、流動負債が16億68百万円減少した一方で、固定負債が10億29百万円増加したことにより、負債合計は6億38百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)の通期の連結業績予想につきましては、2024年11月7日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,700	18,331
受取手形及び売掛金	27,376	27,264
電子記録債権	1,810	6,185
商品及び製品	18,316	18,961
仕掛品	3,609	3,096
原材料及び貯蔵品	6,688	6,190
その他	1,554	1,410
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	86,025	81,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,430	14,001
機械装置及び運搬具（純額）	36,114	35,248
工具、器具及び備品（純額）	570	475
土地	20,393	20,394
リース資産（純額）	258	269
建設仮勘定	428	630
有形固定資産合計	72,196	71,019
無形固定資産		
リース資産	2	0
ソフトウェア	446	297
その他	186	196
無形固定資産合計	634	494
投資その他の資産		
投資有価証券	11,075	11,164
繰延税金資産	427	249
退職給付に係る資産	1,733	1,668
その他	3,622	3,531
貸倒引当金	△28	△37
投資その他の資産合計	16,831	16,577
固定資産合計	89,662	88,090
資産合計	175,688	169,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,057	15,225
短期借入金	3,220	3,332
リース債務	106	103
未払法人税等	1,941	480
賞与引当金	1,799	803
役員賞与引当金	72	41
製品保証引当金	90	55
その他	9,695	11,273
流動負債合計	32,982	31,314
固定負債		
長期借入金	11,621	11,651
リース債務	199	207
繰延税金負債	1,964	2,989
役員退職慰労引当金	170	174
製品保証引当金	740	740
退職給付に係る負債	1,334	1,342
その他	371	324
固定負債合計	16,401	17,431
負債合計	49,384	48,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,944	10,950
利益剰余金	99,271	99,070
自己株式	△4,775	△9,733
株主資本合計	113,577	108,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,686	5,750
為替換算調整勘定	6,040	5,713
退職給付に係る調整累計額	1,222	1,062
その他の包括利益累計額合計	12,949	12,526
新株予約権	161	169
非支配株主持分	△384	△366
純資産合計	126,303	120,753
負債純資産合計	175,688	169,499

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	107,824	112,155
売上原価	69,611	73,660
売上総利益	38,212	38,494
販売費及び一般管理費	30,541	32,908
営業利益	7,671	5,585
営業外収益		
受取利息	102	115
受取配当金	147	162
不動産賃貸料	66	52
為替差益	499	405
その他	110	190
営業外収益合計	925	927
営業外費用		
支払利息	90	232
その他	34	57
営業外費用合計	125	289
経常利益	8,471	6,223
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	46	42
特別利益合計	48	45
特別損失		
固定資産除却損	23	282
減損損失	279	—
棚卸資産除却損	—	119
特別退職金	—	165
特別損失合計	303	567
税金等調整前四半期純利益	8,216	5,701
法人税、住民税及び事業税	1,862	1,093
法人税等調整額	690	821
法人税等合計	2,552	1,915
四半期純利益	5,663	3,785
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,624	3,767
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	18
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,740	64
為替換算調整勘定	4,333	△326
退職給付に係る調整額	△68	△160
その他の包括利益合計	6,006	△422
四半期包括利益	11,669	3,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,609	3,345
非支配株主に係る四半期包括利益	59	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,428,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が9,733百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,939百万円	4,068百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	100,393	7,430	107,824	—	107,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	749	1,574	2,324	△2,324	—
計	101,143	9,005	110,148	△2,324	107,824
セグメント利益又は損失(△)	9,753	84	9,838	△2,166	7,671

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△21億96百万円及びその他の調整額29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、固定資産の減損損失279百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	105,002	7,152	112,155	—	112,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	770	1,473	2,243	△2,243	—
計	105,773	8,625	114,398	△2,243	112,155
セグメント利益又は損失(△)	7,617	79	7,696	△2,111	5,585

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△21億36百万円及びその他の調整額25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。